

1～4年次通年・選択

1単位・30時間

【概要・目的】

ボランティア活動や本学独自の助成制度である「学生自主カリキュラム」活動などを自主的に計画し、活動し、報告することを通じて、医療者に必要なチームワークと行動力を培うとともに、地域住民との積極的交流によって、地域特性をふまえた住民の生活状況や健康問題を理解し、医療に対する住民のニーズを把握するための活動である。

【到達目標】

- 1) 医療者に求められる協調性と主体的行動力を修得する。
 - 2) 地域住民の疾病予防、健康維持と増進のための地域貢献のあり方を理解する。
-

【内容・スケジュール】

大学・学部が認定する地域交流活動に参加し、ポイントを加算していく。1ポイント当たり概ね2時間程度の活動を原則とする。入学から卒業までの間に、通算して20ポイントを超えるポイント数を得た場合に、単位を認定する。

令和3年の活動実績は以下の通りである。

[学生フォーラム運営活動]

- ・和歌山県内の看護学生相互の連携と交流および看護の質の向上を目的とした看護学生フォーラムにおいて、他校の学生と連携、協力して、フォーラムの企画、準備、実施、評価のプロセスに参加する。

[学生自主カリキュラム]

- ・和歌山県の神社仏閣を巡り、産育儀礼を知る。
 - ・地域の高齢者に対するアドバンス・ケア・プランニング (ACP) の普及啓発を行う。
-

【評価】

参加状況・活動報告書の提出

【教科書】

なし

【推薦参考図書】

なし

【その他】

- ・活動参加の際は、必ず、事前に活動参加申出書を提出し、終了後に活動報告書を提出すること。
- ・参加申出書及び活動報告書の提出がない場合、原則として、活動に参加してもポイント認定がされないため、留意すること。